

令和元年度 長岡高校スーパーサイエンスハイスクール

名 称	SSRII・SSRB Biology Experiment in English
期 日	令和元年7月18日（木）3限、4限にて実施
会 場	長岡高校 生物実験室
対 象	2年生普通科理系生物選択者・2年生理数科生物選択者
目 的	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語での実験を経験することで、科学研究において必要である英語の学習意欲を高めるとともに、教科の枠を超えた学びを体験する。</li> </ul>
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>長岡高校のALTであるマット先生が英語で実験の指導を行った。</li> <li>実験はカタラーゼを用いて酵素の性質を理解する内容である。</li> <li>はじめに、マット先生が実験の説明と指示を英語で行った。</li> <li>説明の後、生徒は英語で書かれたプリントを見ながら実験を進め、実験結果も英語で記録する。</li> <li>実験中は、全て英語。科学的内容の理解はもちろん、英語力も向上する、素晴らしい授業である。</li> </ul>



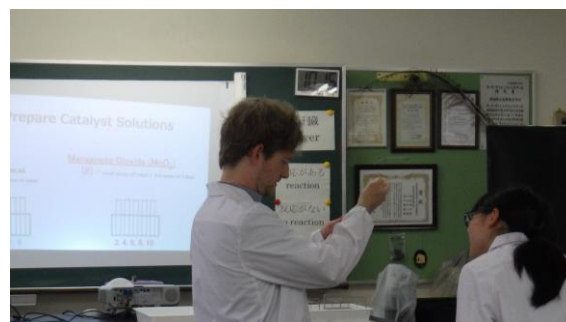
パワーポイントを用いて実験内容や器具の操作を説明するマット先生。



実験中の様子。わからないことがあった生徒はマット先生に質問していた。



実験中は基本的に英語。器具の指示も英語です。



実験を確認するマット先生と生徒

アンケート評価	<p>授業後のアンケート結果を集計すると、</p> <p>Q 英語での実験指示は、よく分かりましたか？</p> <p>よく分かった 【55.6%】</p> <p>少し分かった 【36.1%】</p> <p>あまりよく分からなかった 【8.3%】</p> <p>まったく分からなかった 【0%】</p> <p>マット先生のわかりやすい説明や黒板に科学英語を貼ってもらうなど、さまざまな工夫をしていただき、全体的には英語での指示もよく理解できていたようです。</p> <p>Q 自分の英語を使う能力が、向上したと感じましたか？</p> <p>向上した 【13.9%】</p> <p>やや向上した 【55.6%】</p> <p>変化なし 【30.6%】</p> <p>今回は英語の“聴く”“読む”が中心で、ディスカッションではないのでこのような結果になりました。</p> <p>Q 今回の経験で、自分の英語学習の意欲は、変化しましたか？</p> <p>向上した 【36.1%】</p> <p>やや向上した 【44.4%】</p> <p>変化なし 【19.4%】</p> <p>やや低下した・低下した 【0%】</p> <p>80%以上の生徒が、この体験は英語の学習意欲を向上させていると言っています。</p>
感想など	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 英語は苦手ですが、わかりやすく丁寧に説明していただいたのでしっかり内容を理解することができた。楽しんで授業を受けられた。</li> <li>• 普段の日本語の授業とは全く違った雰囲気・緊張感で、集中して取り組むことができた。</li> <li>• 分からない英語があるときは焦ったが、班の人と協力して進めていけたので、とても楽しかった。</li> <li>• 英語での説明で、最初は心配だった。けれど、普段の英語の授業のおかげである程度聞き取り、理解することができた。自信を持てる良い機会になった。</li> </ul>

